

令和2年度 保育者のためのマネジメント研修 報告

9月7日（月）、静岡県総合教育センターで「保育者のためのマネジメント研修」が行われました。講師に、常葉大学大学院教授の久米昭洋先生をお迎えし、「組織マネジメント力を高めるコーチング」をテーマに講義・演習を行いました。

参加者が、研修内容を理解し活用しようとする意識を高めるとともに、受講後、自らがリーダーシップを発揮する組織において、コーチングの考え方や価値を用いてマネジメントの質の向上を図ることを目的としました。

午前中は、豊富な事例をあげながら、大変分かりやすくコーチングについてお話をしてくださり、リーダーの役割や人材育成のポイントについて学ぶことができました。さらに、演習を通してコーチングで成果を上げるためのスキルを実際に体験し理解を深めました。

午後は、グループでの演習を主に行いました。自園の現状分析のために SWOT 分析をし、さらに、クロスSWOTを行うことを通し、所属する園や所を俯瞰的に捉え、近未来をイメージし、園独自の戦略、ビジョンまで考えました。

参加された方からは、「とても熱のこもったお話を聞かせていただきました。上司としての心構えややるべき役割を振り返ることができました。」「演習を通し、明日からやるべきコーチングに気付かされました。」「上司という立場ではないのでこの研修に参加に躊躇しましたが、学びがたくさんあり参加した甲斐がありました。」「心に響く言葉、残る言葉がたくさんあった研修でした。」「チームになって園経営をしていく大切さを教えていただきました。価値ある存在でありたいです。」などの声が聞かれました。実施後のアンケートでも、研修の満足度A評価（4段階）が9割を超し、大変好評でした。



【講師 久米昭洋 教授】



【グループワークでスキルを高める】



【SWOT 分析からクロス分析へ】



【分析を発表しシェアリングする】

参加者のアンケートから

- 何回かマネジメントの研修を受講していますが、今回の研修で、コーチングにしても傾聴についてもすんなり頭の中に入ったという気がします。現場に戻って、コーチングシートなど使用してみようと思います。(保育所 保育士)
- 研修評価レベル2まで達成できました。今回学んだことを現場で生かしレベル4の成果が感じられるよう日々の行動を変えていきたいと思います。「報・連・相」される人を目指し、傾聴と承認を意識していきます。(認可外保育所 主任保育士)
- お話を聞きながら、保護者や若手教員などいろいろな方の顔が浮かんできました。いろいろな方法を学びましたが、自分の中にひとつずつものにして役立てたいと思います。(幼稚園 教諭)
- 仕事に追われ、若手教職員の頑張りを分かっているつもりでもそれを言葉にして認めることすらしていなかったのが、まずはそこから始めたいと思いました。(幼稚園 教諭)
- これまでは、傾聴する際、「聴く」ことばかり意識していました。「訊く」こともしていかなくてはと反省しました。教えていただいたスキルは、必ず使えるように頑張ります。(幼稚園 教諭)
- 自分が園の中で中堅としてどんなことができるのだろうか、役割は何なのか自問自答し悩むことがありましたが、今回の研修で、自分の意見を伝えることや若手の思いを引き出しながら組織として高め合う関係を築いていくことの大切さを学びました。園運営のためにやるべきことをただ伝えるのではなく、そこに相手の心情を感じ取りながら関わっていけるようになりたいと思います。(幼稚園 教諭)
- 自分のことで精いっぱいなところが多いのですが、中堅として求められる、チームの一員として考え行動していくことを改めて感じました。できることをすぐに取り入れていきたいと思います。(こども園 保育教諭)
- 演習も多く、実践しながら学ぶことができました。型を覚えればパーツが使えるので、まずは自覚しながらパーツを使うことを取り入れたいと思います。また、園内研修の風土を変え、させられているという意識ではなく、やりたくなるものにしていけたらと思います。(こども園 副園長)
- 今まで「報・連・相をしてください。」と言っていたのですが「報・連・相をされる人になりなさい。」という言葉に熱いメッセージを感じました。どんな人間関係や体制であっても、その人のよい面を見出し4月から3月まで共に歩いていくという話、勉強になりました。ありがとうございました。(幼稚園 教頭)
- コーチングについての話は何回か聞いたことがありますが、どこでどのように生かすか悩むことがありました。今日の話は具体例がとても分かりやすく、学んだことをこれから保育者に伝えていきたいと思いました。(行政関係者)